

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	全職員や来園者にも目が届くよう玄関に掲示し、申し送り担当職員は夕方のミーティングで復唱し毎日再確認しながら、日々その理念に基づきケアにあたっている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	昨年新型コロナウイルス感染予防対策の継続により交流が途絶えていた為、今年度は対策を講じ地域交流会としてご家族様招待し隣接パインの雪の方々と共にバーベキューを行う予定であったがコロナウイルス第7波の為、今回もやむを得ず延期の後、中止とした。	新型コロナウイルス感染症の感染者の拡大時期が想定できない中、計画した事業が中止となることは止むを得ないことであるが、今後も当分の間は感染予防を継続しながら実施しなければならないため、代替事業の計画も検討する必要がある。		来年度の時世の決まり、国の決定事項に沿った行事の起案、再開、今年度中止となった期待する行事の復活や再挑戦など、やるべきことがたくさんある。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	例年、運営推進会議メンバー様と昼食試食を兼ねて食事会を行ってきたが、2年連続中止と今年バーベキューを行う予定であったが、今回も見送りとした。	以前は昼食試食会の他、流しそうめんやバーベキュー等運営推進会議後入居者の皆さまと行ってきた事が思い出される。来年度こそは再開できる様な状況になって欲しい。		ある程度の感染予防対策を講じた上での食事会の再開を行っていく事とした。
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議を通じご意見を頂きサービス向上に活かしてきたが、近年十分に会議に時間が取れていない。しかし不明な点や報告事項は必ず市へ電話や出向くなどして連携をとっている。社会福祉協議会及び民生委員、地域包括支援センター等連携を取り合っている。	自治体や関係機関との連携は、地域を基盤としたさまざまな事業が増えているところでもあり、事業実施主体と連携を図りながらの取り組みを継続してほしい。		今後も連絡を取り合いながら、又、運営推進会議の開催にて意見徴集、その意見を大事にし、改善若しくは実行していく事とする。
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に勉強会を開き知識を深めたり、事例を元にどのように取り組むか話し合ったり、業務の見直しを行いながら、取り組んでいる。グループホーム合同勉強会でも、年2回身体拘束について勉強会を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束を含む虐待について、虐待に繋がる恐れのある事例については、常にミーティングや会議等で話し合い、内容の共有、アイデアを出し合い、工夫しながら介護にあたっている		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員勉強会の題材とし、社会福祉士よりアドバイス頂きながら勉強会を行っている。必要時は活用できる様支援できる体制にある。利用には至らぬも過去にも家族より相談を受けた			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約には十分な時間を設けてはいるものの、コロナ禍で手短かになりつつある為、十分に理解が得られるよう説明し、最後に理解の再確認を行っている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	誰でも自由に投函できる意見箱を設置し、代表に報告した上で、運営推進会議や職員会議で話し合っている。又更に月1回の面会時には通信に担当職員のコメント付きで状態報告行ったり、その他毎月1回自治会を設け入居者の意見を聞いている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者は法人の会議の場や事業所の会議に出席し、意見や提案を聞く機会を設けている。職員と管理者との個別面談の実施にてやりがいに繋げたり業務改善しながら働きやすい職場環境の整備に努めている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	キャリアパスを設け、職員各々積み重ねてきた経験や実績を踏まえ、将来のレベル到達の見通しを明らかにしている。又、年2回人事考課と個別懇談を実施し、賞与や昇給へと反映させ向上心に繋げている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で外部研修に思うように参加できない中、工夫を凝らし、リモートでの参加を行った。管理者は年1回必ず、認知症に関する研修に参加し、内容を職員に伝えている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症ケア専門士研修参加の継続と、法人でも後半、外部研修に参加行ってきた。その他グループホーム合同勉強会の開催も行っている。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍、オミクロン株第7波で感染拡大が懸念されている中の外部との交流はお互いにリスクが大きく難しい。			法人内の6ユニットの勉強会はリモートや意見徴集の形で行ってきたが、来年度の活動参加に期待する。

14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者と共に一緒に何かをする機会を多く設け、入居者個々のレベルに合わせた作業を行ってもらったり、時には入居者全員と職員で行う活動を工夫しながら提供している。			
15	馴染みの人や場との 関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月必ず1回以上の面会をお願いしたり、友人などの面会の際、再来をお願いしてきたが、現在コロナ禍ご家族様以外の面会は殆どできていない。	面会の方法についてオンラインを活用するなど、新型コロナウイルス感染症感染だけに限らず、感染症拡大(流行)時の恒常的な面会方法や環境を検討する必要がある。		制限がありながらも、面会規制緩和に至ると思われる。

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者が会長を務める自治会組織があり毎月1回自治会を開き、普段は言えない意見や要望の反映に努めている。伝えられない方は真意を表情で汲み取る。意見や要望は職員全員に伝えられ共有し、叶えにくい希望については話し合いそれに代えられるものはないか話し合う。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	半年に1回、カンファレンスを行い本人の意向を基に職員や看護師の意見の他、月1回の面会時に日々の状態を家族に伝えた上で要望を聞き意見を取り入れながら本人主体の本人の為の介護計画を作成している。計画作成担当者が介護を兼務する事により、見える問題や自立支援の目標も増え、良い介護計画書を作成する事が出来ている。	自立支援介護を継続して行うことで、通常、本人の課題やできないことへ着目しがちな介護の視点を拡げることができ、本人にとっても、意欲を持ち続けられる日常生活を送ることにつながると考える。そのためにも職員間における計画目標等の共有化を図っておくことが重要。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	担当者による月毎の状態や状況、変化等のまとめを実施、そこで見える問題点を毎月の会議にて共有し話し合い、決定事項は職員全員に周知し統一した介護を目指している。毎日の記録は誰が見ても分かるよう記録している		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月1回の面会をお願いしており精神安定に努めている他、得られない場合は事情により本人と共にこちらから出向ける体制も整えているが新型コロナの影響で現在は中断しているも遠方からの面会者などに対応し、家族や知人等の宿泊も可能であり寝具や食事の提供も出来る。	行事同様中止となっている事を報告、以前は居室に頻繁に出入りし、行事の見学や参加もできたものの、今では良くて玄関先での対応となっている事を報告、代替え策として日頃から事業所で検討しておく必要性があり、事業所の機能の整理、再確認が求められるとの事。		以前のように、県外から来たご家族、親類が宿泊できる日はまだ先の話になると思われるが、感染予防対策は必要としながらも、何らかの方法を取り入れながら、会いに来てくれる方々を温かく迎えたい。

20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議等で得た知識を活用したり、地域包括支援センター等にも相談、権利擁護事業の理解に努めている。又、その他のサービスを理解して頂く為に本人、家族、その他の来園者にも情報提供を行っている。	地域の社会資源は必ずしも施設・事業所が提供するサービスや様々な制度だけではなく、日常生活を支える情報等のソフトも含まれるため、一人ひとりの生活状況に合わせた情報提供を行っていくことが重要。		日々、地域の発信にアンテナを張り、情報収集に努めていきたい。
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今はコロナ感染予防の為、必要最低限での受診受薬のみである。又、家族が受診対応する場合はサマリーを作成し医師や家族、ホーム間で情報の共有化が密に出来る様に努めている。入居時かかりつけ医への通院としているも、本人、ご家族様希望の際は嘱託医への連絡、情報提供等しながら移行とする。			今までも、受薬受診と診察等、主治医その他の医師の指示通り行ってきた。医療機関の都合もある中、時世に沿った受診を行っていく事とする。
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医師や家族、担当ケアマネとの連携を密にし情報の共有化を図り、家族や主治医へサマリーや口頭での詳しい状態報告を行いながら、本人や家族にとってより良いケアとなるように調整、連携を密に行っている。入院中も主治医や看護師と連絡を取り退院の調整も行う。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医療連携体制を法人の嘱託医や連携看護師による協力体制を整え、24時間の対応が可能である。契約時に重度化した場合や終末期や看取りの方針を本人や家族に確認、更に毎年1回の個別懇談にて再確認、希望や状況の変化に応じ対応できる体制である。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	緊急時や事故対応のマニュアルを揃えている他、研修への参加、パインの森勉強会の題材としている。又、緊急連絡体制の周知徹底に努め併設パインの看護職員や隣接特養連携看護師との連携体制も整っている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今までどうしても火災発生時の訓練に力を入れ年2回夜間想定での避難訓練行ってきたが、今回大雨水害を体験し、天災による訓練をもっと増やさなければならないと思う。	既存のハザードマップだけでは安全を確保することは難しい部分もあるため、策定義務のあるBCPを活かし、特に洪水等の自然災害の場合には警戒レベル3での避難開始の方法も確認しておく必要がある。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	昨年度の外部評価で希望のあった運営推進会議メンバーでの総合消防訓練の見学を実施し意見を頂いた事は良かった。今年度の大雨災害で得た問題、知識を今後BCP作成に反映したい。

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	プライベートゾーンへの配慮、必ずノックをし了承を得てからの入室、又意思を表出しにくい方への思いの汲み取りの工夫、排泄声掛け等羞恥心への配慮はもちろん、個人情報保護法の観点への配慮も行っている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍により感染予防の為に過ごし方や決まり事も多くなっており、ストレスを増やしがちなものであるもの、人命第1と考え、ある程度の規制を設けながらも、国の方針に従いながら段階的に解除行っていく予定である。		コロナが始まって約3年を経て、今まで職員共々規制がかかり、過ごしにくい毎日を送ってきたが、ある程度の感染予防対策や規制は必要としながらも、入居者の希望を叶えていく事とする。
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎月、希望食への対応、寿司の日や弁当の日、希望により鍋焼きうどんやいなり寿司等へのメニュー変更、コロナ前は食事準備も一緒に行ったり、現在は後片付けのみではあるものの、一緒に行う事で家庭という一体感を味わってもらおう。好評である漬物作りの再開も行う予定である。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	栄養士がバランスを考え献立を管理、午前午後のおやつ時間に本人の嗜好する飲み物の提供、又水分量を毎回チェックし把握、水分不足気味の方への声かけや、スムーズに飲める工夫をする。又、食事に関しての問題点については管理栄養士に都度相談しアドバイスを頂いている。		
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	口腔加算を算定するにあたって口腔ケアの必要性を職員全員理解し、入居者全員にも周知し毎食後の声かけやケアの介助を徹底、清潔保持しながら食事前には口腔体操を行い誤嚥防止の取り組みを行っている。口腔内の不具合があれば、歯科にすぐ連絡し往診、治療、ケアのアドバイスを頂いている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎回の排泄時間を記録し入居者一人ひとりの排泄パターンから本人の排泄感覚を把握し、定期的な声かけや早めの誘導、介助にて失敗のない排泄環境に努めておりおむつ外しにも積極的に取り組みご家族様の経済的負担軽減を図る。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	

32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	基本は週2回必ず、殆どの入居者は1日おきの入浴であるも毎日入浴可能である為、その日に合った提供できている。その人の入浴日や職員都合に捉われず選べる入浴となる。一人でゆっくり入れる環境であかすりもやっている。長湯の方の体調の確認や入浴拒否にも合った対応を行う。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	夜間の安眠を促す為、夜眠れない方には日中活動的に過ごしてもらう様援助したり、疲労感見られる際は臨機応変に休息する時間を設けているも夜間の睡眠時間に影響されない様適度な休息とする。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	服薬の処方箋を綴るファイルを置き、いつでも確認できる状態にある。又、服薬変更時は職員全員と看護師へ申し送りし、状態変化にも注意している。又、連携看護職員管理、指示の下、職員3段階確認の上で本人手渡し、服薬終えるまで見守りとしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人の役割があり、本人のペースで作業や活動の提供をしている他、自治会や回想法で出た意見や嗜好を尊重し本人のやりたい事食べたい物、昔行っていた事の復元、漬物作り、その他の作品作り等QOLの向上に努めている。(コロナ禍で制限されている物も有)	本人のこれまでの生活歴や経験を尊重し、一人ひとりの生活リズムを維持しながら、穏やかな生活を送ることができるよう工夫をするとともに、一方ではこれまでの生活の中では経験することがなかった新しいものも取り入れるなど、今後の生活を充実させる取り組みを取り入れる余地もあると思われる。		今までコロナ規制で出来なかった事や自治会で得た意見を尊重したり、希望を叶えたりと、来年度は充実した日々を送りたいと思っている。
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	昨年に引き続きコロナ禍、花見ドライブや地域小学校の運動会見学に行ったものの、どれも車中での見学となった。今年、地域交流会としてご家族様招待し併設パインの乗用者様とバーベキューを行う予定であったがコロナウイルス第7波の影響で已む無く中止とした。	散歩等でリンゴの木や田んぼ等昔の風景を思い出す事が出来たり、近くのコンビニまで行くだけでも良いと思う。又、車中の見学も又、楽しみの一つであると思われるので、乗っているだけのドライブでも充分だと思う。		今年度中止になった行事を来年度は感染対策を講じながらも、確実開催していく事とした。又、立地条件が整っているこの地域で、散歩やドライブで地域の人々と再会していきたい。
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の力量に合わせて自己管理している方がいるものの、入居前から家族に任せている方が大半なので殆どの方が金庫預かりとしているものの、買物代行で希望は叶えられている			行事が充分に出来ていない事でお金を自由に遣える機会もなかった。その為、買い物代行は行ってきたが、本人の満足には至っておらず、来年度の買い物外出行事の再開に期待する。

38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎年賀状を家族や親戚へ直筆入りで送っている。不安な事や気になる人への電話やその取次も都度支援している。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	共有スペースは家庭的な雰囲気を保てるよう配慮し物音や声、テレビ、音楽の音量も不快のない適度な物、又、採光性も良く季節や天候、時間の移り変わりの変化が分かり易い様工夫し、温度湿度計にて調節する。又、集中して食事ができる様、テレビではなく音楽やラジオを流し落ち着いた雰囲気ですり、季節の物を飾り入居者の五感を養う。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍以前は行きたいところの希望を取り、遠い所は十和田湖までも行って来たが現在は外出できていない。自治会やマンツーマンの会話、普段の入居者同士の何気ない会話の内容も大事にし、情報から希望を探り職員間で共有していく。			毎月自治会を行いながらも、入居者の希望に沿えない事が多かった。来年度のコロナ規制緩和に向けた今まで通りの行事の再開と新たな形の行事を開催していく事とした。
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時の細かなアセスメントや本人との会話、又、ご家族様や面会に来た知人からの情報を大事にしたり、回想法などで思い出した情報などを元にケアプランにて反映させている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の希望通り、入居後も馴染みの主治医への受診を基本としているも、本人又は家族の希望にて嘱託医へ主治医変更とする際は情報を集め、先生へ細かな申し送りし連携を図っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時にアセスメントや面談等で本人の生活ペースを把握、出来る限り自宅での暮らしや環境を変えずに生活出来る様支援、但し特別理由がない場合の食事は3食とも、全員同じ時間に同じスペースで摂り、孤立防止、見当識の維持を図っている			

44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	これまで使用してきた物を持ち込み、なるべく新しい物の購入を避けて頂く。過去には、夫の位牌と写真を部屋に置き簡易的な仏壇へ毎日、ご飯とお茶をお供えする習慣を身につけ、認知症進行防止としている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染予防対策として、外出自粛しているものの、以前は毎月の自治会で出た希望はすぐ実行できるものは実行したり、後日予定を組んで外出したりしていた。	感染予防をしながらであっても外出時には外出先の状況によっては十分に感染予防が図られない場合もあるため、予防措置が十分なものや感染リスクの低い場を精査し、今後の外出に向けた要件を整理しておくことも必要である。		ここ数年、コロナ自粛の日々が続き、入居者様のストレスも全開になる前に、今春外出行事の再開を図るべく、起案に取り組んでいる。推進会議でも話があった、下調べも必須である。
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	それぞれに役割があり、毎日の日課としている。下膳や洗濯たみ、洗濯干し、自室やリビングの掃除機がけやモップ、テーブル拭き、食器拭き等の手伝い、自治会での発言、提案など互いに助け合って暮らしている。ゲームや軽い運動、体操も行っている。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日午前には新聞読みでの世間のニュースで認知症進行防止とし軽い体操も兼ね全員での活動や脳トレを行いほぼ毎日全員が参加、午後は個別に好きな活動を行っている。中には花札、塗り絵、裁縫等個々に行っている		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	以前は民生委員の方の訪問、運営推進会議メンバーとの食事会、バーベキュー等も行い、又敷地内で行われる地域交流会の参加にて色んな方とも交流出来ていたが、現在は自粛中である。	直接交流を図る機会だけではなく、間接的、オンライン等を活用し、本人にとっても参加をしていると意識できるような場面を設定することで、交流に対する満足感や自発性を高めることに繋がるとされる。		コロナ始まりの頃、家族を忘れるくらい会えていなかった日々が2年程続いたが、今年度はいづらか緩和された。来年度はコロナ以前とはいかないかもしれないが、現状の回復に努めていく。又、オンラインも活用したいと思っている。
49	総合	本人は、このGHにいて、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の表情等で判断する事しか本音は聞き出せないものの、毎日笑いが絶えない賑やかなグループホームである。	利用者自身の生活の質や満足度を高めるために努力している様子を伺うことができる。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	